

Accessibility.jp 無料セミナー

第1回 miChecker勉強会

2021年11月24日(水)

講師：飯塚 慎司

株式会社インフォ・クリエイツ

目次

- 本セミナーの目的
- 今日のセミナーの方針
- miChecker (エムアイチェッカー) とは
- miCheckerの特徴
- miCheckerのJIS X 8341-3:2016に対するカバレッジ
- miCheckerの操作画面
- miChecker 3つの機能の紹介
- Accessibility.jp の紹介
- 本日説明する問題 (10項目)
- 指摘される代表的な問題

本セミナーの目的

目的は「Web制作者のスキル向上」に貢献すること

Webアクセシビリティの検査をする身として
Web制作者のスキルが上がれば
発見される問題が減って
私たちの仕事は楽になる!

そして、より良くするための議論がもっとできるようになる

知識を宣伝することが目的ではありません (する程でもない)
当社サービスへの誘導が目的ではありません (しないとは言い切れない)

今日のセミナーの方針

miCheckerで良く指摘される問題の解説

よく見かける代表的な問題について次のことを説明します。

- なぜ指摘されたか？
- 直さないとどんな問題を引き起こすのか
- どうやって直せば良いのか

miChecker (エムアイチェッカー) とは

- 総務省が提供しているアクセシビリティ評価ツール
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/michecker.html
- HTML5 (W3C Recommendation 28 October 2014) に対応
- JIS X 8341-3:2016への対応
- 各種付属文書の更新
- ソースコードは Eclipse Public License Version 1.0 (“EPL”)で公開
- AdoptOpenJDK の提供する Java 実行環境に対応

おまけ

- ACTFではaDesingerとして公開（こちらでも利用できる）
<https://www.eclipse.org/actf/downloads/tools/aDesigner/>
- なまえの由来

miCheckerの特徴

付属資料：「1_miChecker の特徴」より

■ miChecker の特徴

アクセシビリティの検証は、機械的に評価できることと、人が判断しなければならないことがあります。miChecker は、機械的に検証可能な項目を自動的に評価するとともに、人による判断の支援を行います。また、作業の過程で必要となる関連情報を、簡単に参照できるよう機能を提供しており、ウェブアクセシビリティへの理解を深めることを支援します。

- 明らかな問題がある箇所を特定します。
- 問題の可能性が高い箇所、問題であるかについて人が判断すべき箇所を特定します。
- 問題箇所などに該当する JIS X 8341-3:2016 の関連情報へのリンクを提供し、理解を深められるよう支援します。
- JIS X 8341-3:2016 に基づく適合性評価や試験の実施を支援する付属資料を提供します。
- 音声読み上げソフトによる読み上げ順や、高齢者・弱視者の見え方などを視覚的にシミュレーションし、ウェブアクセシビリティに関する問題の把握や目視確認時の判断を支援します。

【注意点】

miChecker は JIS X 8341-3:2016 に基づく検証を全て自動的に行えるものではありません。miChecker の付属資料等を参考に、人の判断により検証すべき項目が多数あります。

miCheckerのJIS X 8341-3:2016に対するカバレッジ

38の達成基準(A/AA)に対するカバレッジ

- 14達成基準 「問題あり」 で診断 [A:12 AA: 2]
- 3達成基準 「問題の可能性大」 で診断 [A: 3 AA: 0]
- 11達成基準 「要診断箇所」 の検出のみ [A: 6 AA: 5]
- 10達成基準 「手動確認」 の指摘のみ [A: 4 AA: 6]

達成基準別の診断項目数内訳(204項目)

達成基準	レベル	問題あり	問題の可能性大	要判断箇所	手動確認
1.1.1	A	11	9	12	2
1.2.1	A	0	0	1	1
1.2.2	A	0	0	1	1
1.2.3	A	0	0	1	0
1.2.4	AA	0	0	1	0
1.2.5	AA	0	0	1	0
1.3.1	A	9	3	20	5
1.3.2	A	0	7	1	3
1.3.3	A	0	0	0	1
1.4.1	A	0	0	3	2
1.4.2	A	1	0	1	0
1.4.3	AA	1	1	4	1
1.4.4	AA	3	2	0	1
1.4.5	AA	0	0	0	4

達成基準	レベル	問題あり	問題の可能性大	要判断箇所	手動確認
2.1.1	A	0	1	1	1
2.1.2	A	0	0	1	0
2.2.1	A	2	0	0	1
2.2.2	A	3	1	1	1
2.3.1	A	0	0	0	1
2.4.1	A	9	5	6	3
2.4.2	A	1	1	0	1
2.4.3	A	0	0	0	1
2.4.4	A	3	1	3	1
2.4.5	AA	0	0	0	1
2.4.6	AA	0	0	2	0
2.4.7	AA	0	0	0	1

達成基準	レベル	問題あり	問題の可能性大	要判断箇所	手動確認
3.1.1	A	2	0	1	0
3.1.2	AA	0	0	0	1
3.2.1	A	0	0	0	1
3.2.2	A	0	1	3	0
3.2.3	AA	0	0	0	2
3.2.4	AA	0	0	0	2
3.3.1	A	0	0	5	0
3.3.2	A	4	1	14	0
3.3.3	AA	0	0	5	1
3.3.4	AA	0	0	1	2
4.1.1	A	10	10	3	4
4.1.2	A	6	8	10	3

診断項目内訳: 「問題あり」 49項目、「問題の可能性大」 43項目、「要判断箇所」 66項目、「手動確認」 46項目(指摘のみ)
手動確認のみの達成基準:

1.3.3 感覚的な特徴、1.4.5 文字画像、2.3.1 3回の閃光又は閾値以下、2.4.3 フォーカス順序、2.4.5 複数の手段

2.4.7 フォーカスの可視化、3.1.2 一部分の言語、3.2.1 フォーカス時、3.2.3 一貫したナビゲーション、3.2.4 一貫した識別性

miCheckerの操作画面

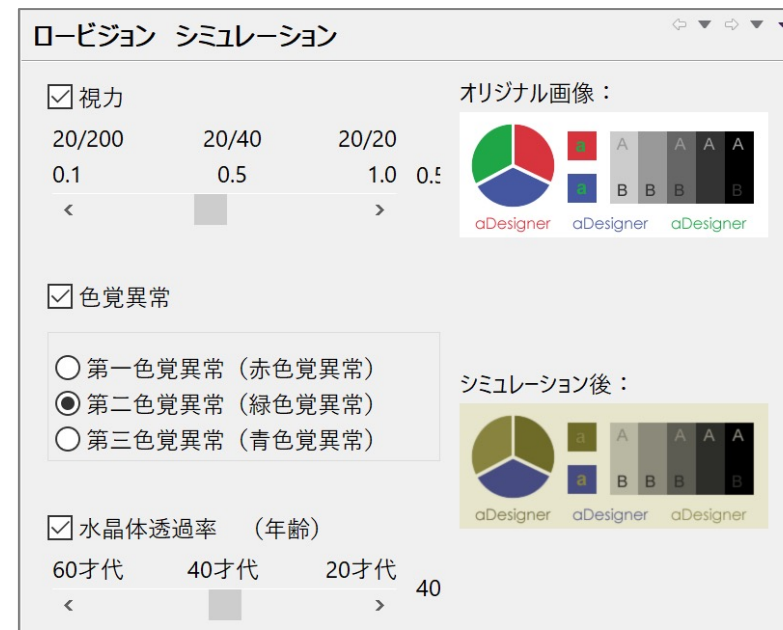
付属資料：「1_miChecker の特徴」より

The screenshot shows the miChecker application window. The menu bar includes 'ファイル(F)', '表示(V)', '編集(E)', 'アクセシビリティ検証・視覚化(Z)', 'ウィンドウ(W)', and 'ヘルプ(H)'. The main window displays a web page from the Japanese Ministry of Internal Affairs and Communications (総務省 MIC). The interface is divided into several sections:

- ブラウザ** (Browser): Points to the address bar and the web page content.
- アクセシビリティ検証・視覚化メニュー** (Accessibility Verification/Visualization Menu): Points to the 'アクセシビリティ検証・視覚化(Z)' menu item.
- 視覚化エリア** (Visualization Area): Points to the '音声ユーザビリティ/ロービジョン' (Audio Usability/Low Vision) section.
- 評価対象ページ** (Evaluation Target Page): Points to the web page being analyzed.
- シミュレーション結果** (Simulation Results): Points to the 'シミュレーション結果' (Simulation Results) section, which includes a list of issues like 'ご意見・ご提案' (Opinions and Suggestions), 'English', 'サイト内' (On-site), and '関連サイト' (Related Sites).
- レポートを選択すると該当箇所をハイライト** (Select a report and highlight the corresponding location): Points to the 'レポート' (Report) section, which includes a list of issues like 'ご意見・ご提案', 'English', 'サイト内', and '関連サイト'.
- JIS X 8341-3:2016の関連文書へのリンク** (Link to related documents of JIS X 8341-3:2016): Points to the 'JIS X 8341-3:2016' link in the 'レポート' section.
- レポートエリア (概要レポート/詳細レポート)** (Report Area (Summary Report/Detailed Report)): Points to the 'レポート' section, which includes a list of issues like 'ご意見・ご提案', 'English', 'サイト内', and '関連サイト'.
- 詳細レポート** (Detailed Report): Points to the '詳細レポート' (Detailed Report) section, which includes a list of issues like 'ご意見・ご提案', 'English', 'サイト内', and '関連サイト'.

miChecker 3つの機能の紹介 (1/3)

ロービジョンシミュレーション

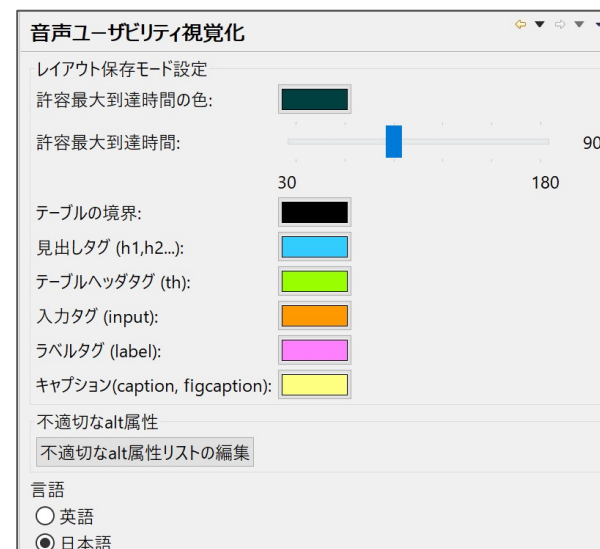
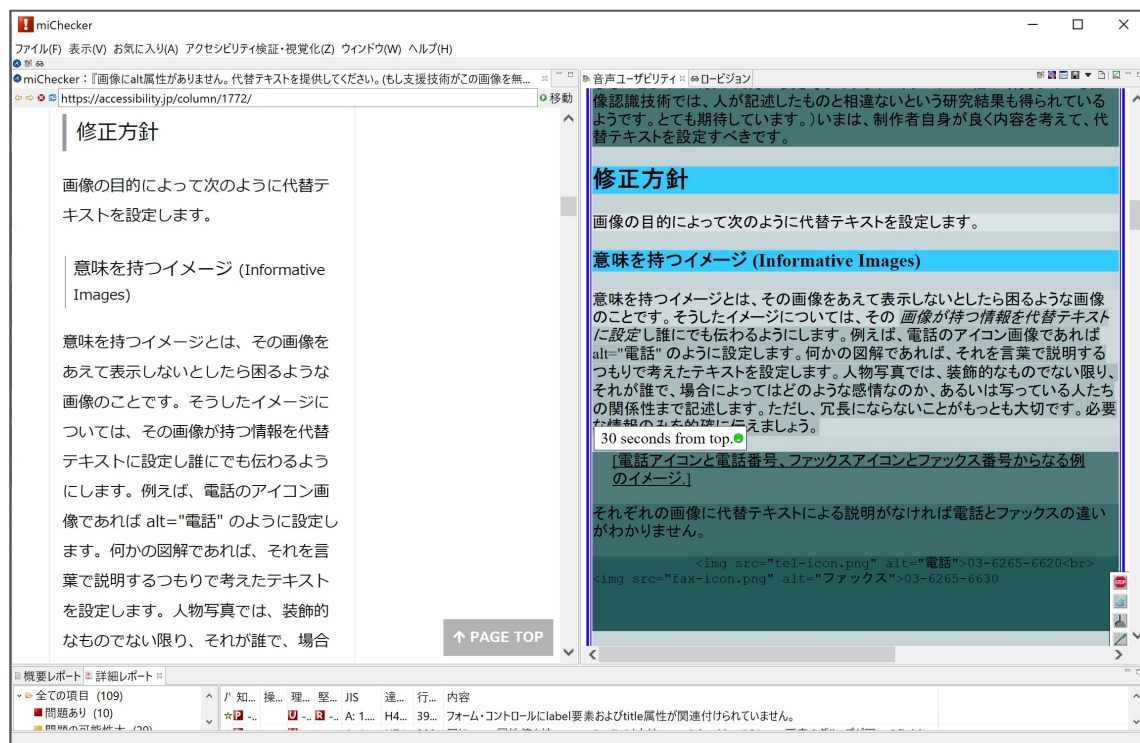


ロービジョンシミュレーションの結果を表示

色覚異常だけでなく、高齢者の見え方のシミュレーションも活用してほしい

miChecker 3つの機能の紹介 (2/3)

音声ユーザビリティ視覚化

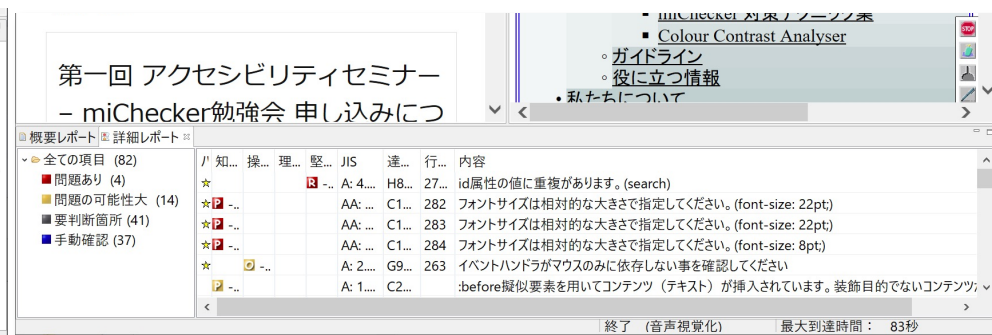
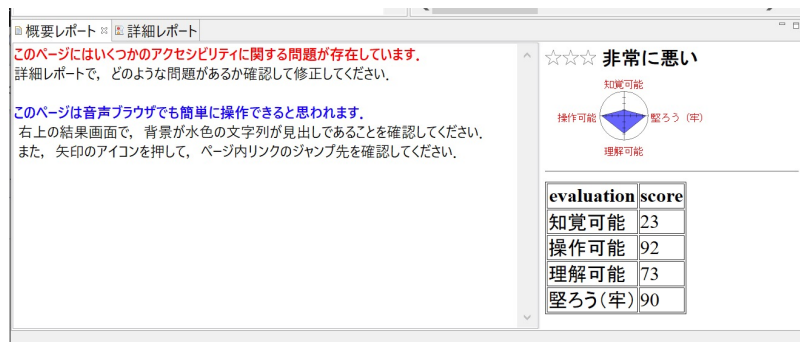


読み上げ順をシミュレーションした状態と、アクセシビリティ検証結果がポップアップで表示される。

main, header, footer, nav, article, aside などランドーマークも検出

miChecker 3つの機能の紹介 (3/3)

アクセシビリティ検証



概要レポート

- シンプルにテキストで状態を説明
- 4原則のスコアから4段階で評価

非常に良い	1つも問題指摘無し
良い	指摘はあるが「良い」と考えられる段階
悪い	指摘が多く「悪い」状態
非常に悪い	指摘がとて多く、利用は困難と思われる状態

詳細レポート

- 問題あり 概ね修正が必要 (100%ではない)
- 問題の可能性大 修正の必要がない場合もある (ここが難しいところ)
- 要判断箇所 検証が必要な箇所を指摘しているだけ (問題とは言っていない)
- 手動確認 ツールでは何も検知出来なかったので手動で確認

Accessibility.jp の紹介

miCheckerの出力の見方、対応の仕方を説明したサイト



<https://accessibility.jp/resources/tools/michecker-techniques/>

miChecker 対策テクニック集

よくある問題から掲載していますが、早く説明が必要なものがあれば、リクエストしていただければ対応します。

内容	WCAG 2.0	達成方法	種別	知覚可能	操作可能	理解可能	堅ろう
画像にalt属性がありません。代替テキストを提供してください。(もし支援技術がこの画像を無視するべき場合は、alt="" と設定してください): src="{0}"	A: 1.1.1	F38, F65, H37, H67	■	-5	0	0	0
画像ボタンにalt属性がありません。代替テキストを提供してください。	A: 1.1.1	F65, H36	■	-5	0	0	0
area要素にalt属性がありません: {0}。代替テキストを提供してください。	A: 1.1.1	F65, H24	■	-5	0	0	0

miChecker: 『画像にalt属性がありません。代替テキストを提供してください。(もし支援技術がこの画像を無視するべき場合は、alt="" と設定してください): src=""』

■ 技術コラム ■ AMCC, miChecker

検出理由

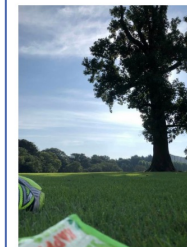
「問題あり」として検出される項目です。

img要素にalt属性による代替テキストが設定されていないと指摘されます。

```
 <!-- alt属性がない -->
```

根拠

全盲の方は画像を見て内容を知ることが困難であり、同時に設定されているはずの代替テキストを代わりに読ませて内容を理解しようとする。代替テキストがないと、得られる情報は何も無いことになり、利用者はそこに何があるかを知ることができません。



近年、FacebookなどいくつかのWebサービスでは画像を自動認識して代替テキストを付けてくれるようになりつつあります。例えば、この写真にはalt="木、草の画像のようです"と自動的に代替テキストが設定されていました。

```

```

なかなかの解析能力です。しかし、他にも良い例が無いか探しましたが、ほとんどが「写真の説明はありません。」としかありませんでした。生き物や人の表情については使いものになる解析が行われることも多い様ですが、まだまだ補助的なものとしてみておいた方が良さそうです。(マイクロソフト社が研究している画像認識技術では、人が記述したものと相違ないという研究結果も得られているようです。とても期待しています。) いまは、制作者自身が良く内容を考えて、代替テキストを設定すべきです。

修正方針

本日説明する問題

No.	達成基準	内容	説明先URL
1	A: 1.1.1	同一テキストの繰り返しがあります	https://accessibility.jp/column/1568/
2	A: 1.1.1	画像にalt属性がありません。代替テキストを提供してください。(もし支援技術がこの画像を無視するべき場合は、alt="" と設定してください): src=""	https://accessibility.jp/column/1772/
3	A: 1.1.1	代替テキストが150文字を超えています。longdesc属性などを用いて、代替テキストを別に提供する事を検討してください	https://accessibility.jp/column/1987/
4	A: 1.1.1, A: 1.3.1 A: 3.3.2, A: 4.1.2	フォーム・コントロールにlabel要素およびtitle属性が関連付けられていません。	https://accessibility.jp/column/1515/
5	A: 1.1.1 A: 2.4.4, AAA: 2.4.9	ページ内リンク "" は、読み上げ可能なテキストを持たないため、音声アクセスできません。	https://accessibility.jp/column/2020/
6	A: 1.3.1	th要素にscope属性がありません。scope属性を適切に用いて、データテーブルの見出しセルとデータセルを関連付けて下さい。	https://accessibility.jp/column/1606/
7	A: 1.3.2	* は文字間に空白を含んでいるため、音声で正確に読み上げることが出来ない可能性がありますフォントサイズは相対的な大きさを指定してください。	https://accessibility.jp/column/1651/
8	AA: 1.4.4	フォントサイズは相対的な大きさを指定してください。	https://accessibility.jp/column/1624/
9	A: 4.1.1	id属性の値に重複があります。*	https://accessibility.jp/column/2053/
10	AA: 3.1.2	[手動確認] 可固有名詞、技術用語、どの言語なのか不明な語句、及びすぐ前後にあるテキストの言語の一部になっている単語又は語句を除いて、コンテンツの一節又は語句それぞれの自然言語がどの言語であるかを、プログラムが解釈可能であることを確認して下さい。	https://accessibility.jp/column/1703/

説明項目 同一テキストの繰り返し

達成基準 A: 1.1.1

内容

『同一テキストの繰り返しがあります。』

説明先URL

<https://accessibility.jp/column/1568/>

お伝えしたい事

- この問題は利用者から見て、アクセシビリティへの理解を示す指数になります。しっかり対応することをお勧めします。
- 代替テキストを空にして、空のリンクを作ってしまうよう注意してください。時々見かけます。

説明項目 代替テキストの無い画像

達成基準 A: 1.1.1

内容

『画像にalt属性がありません。代替テキストを提供してください。(もし支援技術がこの画像を無視するべき場合は、 alt="" と設定してください)： src=""*』

説明先URL

<https://accessibility.jp/column/1772/>

お伝えしたい事

- アクセシビリティの基本中の基本です。しかし、悩まれている方も多いので、改めて整理してみました。
迷った時は、スクリーンリーダーの利用者が目の前にいらっしやると思って、その方に説明をしてみてください。ただし、後ろにも沢山の人が並んでいて、手短かに伝える必要があると想定します。その内容を代替テキストに入れるのが良いでしょう。

説明項目 150文字を超える代替テキスト

達成基準 A: 1.1.1

内容

『代替テキストが150文字を超えています。longdesc属性などを用いて、代替テキストを別に提供する事を検討してください』

説明先URL

<https://accessibility.jp/column/1987/>

お伝えしたい事

- 長い代替テキストは読み上げの観点で適当ではありません。

説明項目 フォーム・コントロールのラベル

達成基準 A: 1.1.1, A: 1.3.1, A: 3.3.2, A: 4.1.2

内容

『フォーム・コントロールにlabel要素およびtitle属性が関連付けられていません。』

説明先URL

<https://accessibility.jp/column/1515/>

お伝えしたい事

- WCAG2.1対応を考えて、今からしっかりとの方針を決めて対応していくべきです。
- label要素とtitle属性の両方をしているすることはしないでください。

説明項目 読み上げ可能なテキストを持たないリンク

達成基準 A: 1.1.1, A: 2.4.4, AAA: 2.4.9

内容

『ページ内リンク "*"は、読み上げ可能なテキストを持たないため、音声アクセスできません。』

説明先URL

<https://accessibility.jp/column/2020/>

お伝えしたい事

- この問題は利用者から見て、アクセシビリティへの理解を示す指数になる。しっかり対応した方が良い。
- 代替テキストを空にして、空のリンクを作ってしまうよう注意する。

説明項目 th要素のscope属性

達成基準 A: 1.3.1

内容

『th要素にscope属性がありません。scope属性を適切に用いて、データテーブルの見出しセルとデータセルを関連付けて下さい。』

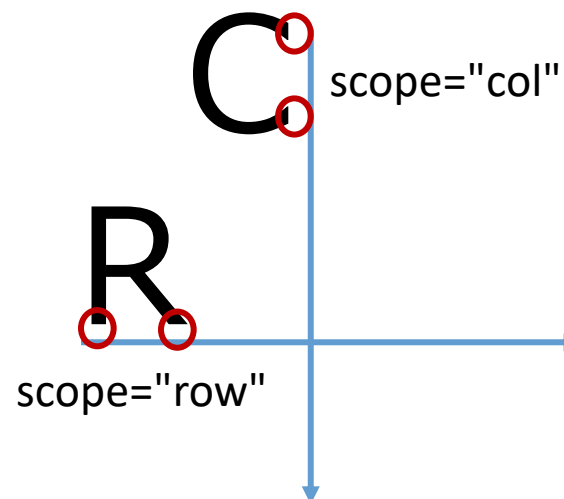
説明先URL

<https://accessibility.jp/column/1606/>

お伝えしたい事

- 本当に表の利用が必要なのかから考えましょう。コピーが多用される現在、表は案外使いにくいものです。
- 使うならば、徹底してシンプルにしましょう。
- 左上隅を空白にする場合、td要素にすることをお勧めします。

scopeの方向の覚え方



それぞれのキャラクタの端が scope の向きを表すと覚えやすいです。なお、結合セルの場合は、colgroup あるいは rowgroup を用います。

説明項目 文字間空白

達成基準 A: 1.3.2

内容

『* は文字間に空白を含んでいるため、音声で正確に読み上げることが出来ない可能性がありますフォントサイズは相対的な大きさを指定してください。』

説明先URL

<https://accessibility.jp/column/1651/>

お伝えしたい事

- 「問題の可能性大」の項目ですが、指摘が正しい場合の多い項目です。これが指摘されている場合は必ず確認しましょう。
- この項目もアクセシビリティの理解度を表すものであり、誤りが複数あると、アクセシビリティの取り組みを疑われるかもしれません。できるだけ早期に解決すべき項目です。
- 文字間にスペースを空けることはCSSで可能です。デザインガイドなどで指定方法を盛り込んでおくといいでしょう。

説明項目 フォントサイズの指定

達成基準 AA: 1.4.4

内容

『フォントサイズは相対的な大きさを指定してください。』

説明先URL

<https://accessibility.jp/column/1624/>

お伝えしたい事

- ブラウザのZoom機能で問題無く拡大できれば良しとしていますが、今後は厳しく対応した方が良いと考えます。
- Zoom拡大であっても問題が生じるケースに遭遇することが少なくありません。大抵は横スクロールで表示域が欠けるトラブルです。すべての利用者にとって問題ですので気をつけましょう。

説明項目 id属性値の重複

達成基準 A: 4.1.1

内容

『 id属性の値に重複があります。 * 』

説明先URL

<https://accessibility.jp/column/2053/>

お伝えしたい事

- PCとスマホの両モードで検索機能を持つ場合、重複することが良くあります。大抵はdisplay:noneで非表示としているので、問題はないと判断しますが、Nu Html Checkerでもエラーとして検出することから異なるようにすることをお勧めします。
- idは数値から始められません。ご注意ください。

説明項目 コンテンツの一節又は語句の言語

達成基準 AA: 3.1.2

内容

[手動確認] 『可固有名詞、技術用語、どの言語なのか不明な語句、及びすぐ前後にあるテキストの言語の一部になっている単語又は語句を除いて、コンテンツの一節又は語句それぞれの自然言語がどの言語であるかを、プログラムが解釈可能であることを確認して下さい。』

説明先URL

<https://accessibility.jp/column/1703/>

お伝えしたい事

- 部分の語句に言語指定が必要かどうかの判断は簡単ではない場合があります。無用に外国語を、ましてファッションで利用することは控えるべきです。
- 迷った時は日本語の指定のままスクリーンリーダーで聞いてみてください。読みから内容が理解できない場合は、やはり言語指定するか、その単語を使用すること自体を再検討してください。

指摘される代表的な問題 (1/4)

「問題あり」(49項目)で検出する問題一覧 1

達成基準	指摘される問題
A: 1.1.1	画像にalt属性がありません。代替テキストを提供してください。(もし支援技術がこの画像を無視するべき場合は、 alt="" と設定してください)： src="{0}"
A: 1.1.1	画像ボタンにalt属性がありません。代替テキストを提供してください。
A: 1.1.1	area要素にalt属性がありません： {0}。代替テキストを提供してください。
A: 1.1.1	{0}（ を含む空白文字のみ）は画像のalt属性として不適切です。(もし支援技術がこの画像を無視するべき場合は、 alt="" と設定してください。そうでなければ適切な代替テキストを提供してください。)
A: 1.1.1	同一テキストの繰り返しがあります： {0}
A: 1.1.1	applet要素にalt属性を提供してください(もし読み上げる必要がないアプレットの場合は alt="" と設定してください)
A: 1.1.1	object要素内には、代替テキストを提供してください
A: 1.1.1	空白文字のみからなる文字列 "{0}" は画像ボタンのalt属性として不適切です。適切な代替テキストを指定してください
A: 1.1.1, A: 1.3.1, A: 3.3.2, A: 4.1.2	フォーム・コントロールに関連付けられたlabel要素が存在せず、title属性の値が空または空白文字だけです。フォーム・コントロールの目的を表わすlabel要素もしくはtitle属性を付与してください。
A: 1.1.1, A: 1.3.1, A: 3.3.2, A: 4.1.2	フォーム・コントロールにlabel要素およびtitle属性が関連付けられていません。
A: 1.1.1, A: 2.4.4, AAA: 2.4.9	ページ内リンク "{0}" は、読み上げ可能なテキストを持たないため、音声アクセスできません

指摘される代表的な問題 (2/4)

「問題あり」 (49項目)で検出する問題一覧 2

達成基準	指摘される問題
A: 1.3.1	th要素にscope属性がありません。scope属性を適切に用いて、データテーブルの見出しセルとデータセルを関連付けて下さい。
A: 1.3.1	th要素のscope属性値が不正です。scope属性を適切に用いて、データテーブルの見出しセルとデータセルを関連付けて下さい。
A: 1.3.1	id属性及びheaders属性を適切に用いて、データテーブルのデータセルを見出しセルと関連付けて下さい。{0}
A: 1.3.1	データセルのheaders属性値に含まれるidに対応する見出しセルがありません。{0}
A: 1.3.1	データセルのheaders属性値に含まれるidがセルでない要素({0})を参照しています。id属性及びheaders属性を適切に用いて、データテーブルのデータセルを見出しセルと関連付けて下さい。
A: 1.3.1, A: 3.3.2	各fieldset要素には、そのグループの説明を含めたlegend要素を指定してください
A: 1.3.1, A: 3.3.2	同じname属性値を持つtype="radio"またはtype="checkbox"のinput要素のグループが同一のfieldset要素に含まれることを確認して下さい
A: 1.4.2	自動的に音を再生することは避けてください。自動的に再生する際は、音を再生していることを明示しているか確認してください
A: 2.2.1, AAA: 2.2.4, AAA: 3.2.5	周期的にページのリロードを行う事は避けてください (<meta http-equiv="Refresh">の利用は避けてください)
A: 2.2.1, AAA: 2.2.4, AAA: 3.2.5	自動的にページをリダイレクトすることは避けてください (<meta http-equiv="Refresh">の利用は避けてください)
A: 2.2.2, A: 4.1.1	blinkを用いて5秒以上文章を明滅させることは避けてください。
A: 2.2.2, A: 4.1.1	text-decoration:blinkを用いて5秒以上文章を明滅させることは避けてください。({0})
A: 2.2.2, A: 4.1.1	marqueeを用いて文章をスクロールさせることは避けてください
A: 2.4.1	本文へ移動などのスキップリンクを提供してください (本文へジャンプ、本文へのリンク等)

指摘される代表的な問題 (3/4)

「問題あり」(49項目)で検出する問題一覧 3

達成基準	指摘される問題
A: 2.4.1	本文へ移動などのスキップリンクへの到達に{0}秒もかかります (スキップリンクの挿入位置を見直してください)
A: 2.4.1	このスキップリンクはジャンプ先のアンカー"{0}"が存在しないため利用できません
A: 2.4.1	このページ内リンクは、ジャンプ先のアンカー"{0}"が存在しないため利用できません
A: 2.4.1, A: 4.1.2	frame要素にtitle属性がありません。frame要素には、フレームの内容を説明するための空でないtitle属性を提供してください
A: 2.4.1, A: 4.1.2	iframe要素にtitle属性がありません。iframe要素には、フレームの内容を説明するための空でないtitle属性を提供してください。{0}
A: 2.4.1, A: 4.1.2	frame要素のtitle属性が空白文字のみから構成されています。frame要素には、フレームの内容を説明するための空でないtitle属性を提供してください
A: 2.4.1, A: 4.1.2	iframe要素のtitle属性が空白文字のみから構成されています。iframe要素には、フレームの内容を説明するための空でないtitle属性を提供してください。{0}
A: 2.4.2	このHTML文書に空でないtitle要素を提供してください。
A: 2.4.4, AAA: 2.4.9	このリンク内には読み上げ可能なテキストが存在しないため、アクセシブルではありません。{0}
A: 2.4.4, AAA: 2.4.9	リンクのtitle属性の値として、空の文字列や空白文字のみからなる文字列を使用してはいけません

指摘される代表的な問題 (4/4)

「問題あり」(49項目)で検出する問題一覧 4

達成基準	指摘される問題
A: 3.1.1	文書内で主に利用されている言語を{0}属性を用いて明示してください (例: <html {0}="ja">)
A: 3.1.1	{0}属性の値にはBCP 47またはその後継仕様に準拠したものを使用してください
A: 4.1.1	このページには複数のbody要素があるようです。HTMLを修正してください
A: 4.1.1	body要素の中にhead要素があるようです。HTMLを修正してください
A: 4.1.1	このページには複数のhtml要素があるようです。HTMLを修正してください
A: 4.1.1	body要素の位置が正しくないようです。HTMLを修正してください
A: 4.1.1	このページにはbody要素が無い、誤った位置に配置されているようです。HTMLを修正してください
A: 4.1.1	accesskey属性の値に重複があります。({0})
A: 4.1.1	id属性の値に重複があります。({0})
AA: 1.4.3, AAA: 1.4.6	文字色と背景色のコントラスト比が3:1未満です。{0}
AA: 1.4.4	フォントサイズは相対的な大きさを指定してください。{0}
AA: 1.4.4	固定サイズのフォントは使わないでください。
AA: 1.4.4	この文字は小さすぎます。さらに固定サイズのフォントが使われています。
AAA: 2.4.10	見出し(h1,h2...)の入れ子関係を適切なものにしてください。{0}

ご参加ありがとうございました。

ご意見・ご質問・ご要望等につきましては、次のアドレスまで、
直接、メールをいただければと思います。
できるだけ対応していきたいと思っています。

インフォ・クリエイツ 飯塚慎司 siizuka@infocreate.co.jp

よろしくお願いいたします。